

キャリアアップに資する教育訓練（技術系）

派遣業務内容	TEMエンジニア、プログラマー、ネットワークエンジニア
派遣業務の具体的な内容	派遣先企業におけるWebシステム・アプリケーションの設計、開発、プログラミング、テスト、運用保守、及びサーバー・ネットワークの構築・管理業務

項目	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降
求める人材要件 (キャリアパス)	指示された仕様書・マニュアルに従い、正確なコード記述(コーディング)やテストができる。	基本的な設計書を理解し、単独でプログラミングや単体テスト・結合テストを完結できる。	顧客の要件から機能設計(詳細設計)を行い、後輩エンジニアへの指示やコードレビューができる。	要件定義などの上流工程を担当し、プロジェクトの進捗・品質管理やトラブル対応を主導できる。
必要なスキル・資質等	ITの基礎知識、セキュリティ・コンプライアンス意識、プログラミング言語の基本構文	Webアプリケーション開発スキル、データベース(SQL)操作、デバッグ・テスト手法	詳細設計書の作成能力、フレームワークの活用スキル、チーム内コミュニケーション能力	要件定義・基本設計スキル、プロジェクトマネジメント知識、顧客折衝力
具体的な教育訓練 ・訓練名 ・訓練内容 ・訓練時間(年間) ・実施方法 ・給与、費用の扱い	新規採用者訓練 ・新規採用者研修 ・IT基礎講座 4時間/年 eラーニング(一部集合研修) 有給、無償	システム設計、開発研修 ・Webアプリケーション開発 ・データベース操作、設計 8時間/年 eラーニング(一部集合研修) 有給、無償	システム設計、開発研修 ・システム詳細設計技術 ・開発環境(FW/Tool)活用技術 8時間/年 eラーニング(一部集合研修) 有給、無償	システム設計、開発研修 ・上流工程実践 ・プロジェクト管理技術 8時間/年 eラーニング(一部集合研修) 有給、無償
	IT基礎アプリケーション研修 ・開発環境の基本操作 ・JAVA、.net等の基本 4時間/年 eラーニング(一部集合研修) 有給、無償			リーダー研修 ・プロジェクトマネジメント ・顧客折衝技術、他 12時間/年 集合研修(一部リモート参加) 有給、無償
(4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／技量レベル／キャリアアップにつながる理由	【期待される教育訓練の効果・到達すべき知識・技量レベル】 入職時～1年目および2年目において、情報セキュリティ意識の醸成、主要プログラミング言語の基本構文、Webアプリケーション開発、データベース(SQL)操作などのIT基礎知識・技術を確実に習得させる。これにより、指示書や仕様書に基づき、単独で正確なコーディングやテストを完結できる技量レベルへの到達を図る。 3年目および4年目以降の段階においては、詳細設計手法や主要フレームワークの活用といった応用技術に加え、要件定義などの上流工程スキル、基づくプロジェクト管理知識、顧客折衝力を習得させる。これにより、単なるコーダーに留まらず、顧客の要件から機能設計を行い、プロジェクトの進捗・品質管理やトラブル対応を主導できる上級システムエンジニア(SE)やプロジェクトマネージャー(PM)としての実務能力を身に付けさせる。			
	【キャリアアップにつながる理由】 下流工程(テスト・コーディング)から上流工程(設計・要件定義・マネジメント)へと、職務の熟度や年次に応じて段階的・体系的にスキルアップを積み重ねることで、派遣労働者自身の市場価値と職能が向上する。結果として、より高単価かつ高度な派遣案件への就業が可能となり、職位の向上やそれに伴う賃金アップ(昇給)が実現できるため、派遣労働者の長期的なキャリア形成およびキャリアアップに直接資するものとする。			

